



The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty U-40 Annual Report 2023

U-40 担当理事ご挨拶	1
U-40 代表幹事挨拶	
U-40 副代表幹事挨拶支部紹介	
<hr/>	
‣北海道支部	7
‣東北支部	
‣関東支部	
‣東京支部	
‣中部支部	
‣近畿支部	
‣中国四国支部	
‣九州沖縄支部	
<hr/>	
U-40 プロジェクト活動報告	40
‣日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム	
‣Advanced Lecture Course	
‣Meditech Education Project	
‣先天性プロジェクト	
‣NOTSS プロジェクト	
‣女性医師プロジェクト	
<hr/>	
BLC	49
‣オンサイトハンズオン	
<hr/>	
専門医試験解説作成	52
<hr/>	
会計報告	53
<hr/>	
編集後記	54

U-40 代表理事挨拶

日本心臓血管外科学会U-40代表理事
秋田大学 名誉教授
山本 浩史 先生



2020年以降、猛威をふるった新型コロナウイルス感染症は、2023年によりやく5類感染症扱いとなり、潜在的なパンデミックのリスクは残るものの、人々の往来が回復し再び学術活動の活発化が期待されるようになりました。10年前、当時の日本心臓血管外科学会理事長の上田裕一先生が若手心臓血管外科医の育成を目的に結成されたU-40（対象：心臓血管外科医を志す40歳以下の医師）は、国内8支部で開催されるBasic Lecture Courseと、学術総会時のAdvanced Lecture Courseを軸として活動をしてきました。コロナ禍の下では、U-40メンバーの工夫によって、SNSを用いたビデオアーカイブ視聴やシミュレーターを用いた指導及び手術手技競技大会等の活動が行われ、それらのノウハウが確立されてきました。コロナパンデミック下の往来制限が幸いして生まれたその新しいタイプの活動方法は、今後も教育効果が高い方法として受け入れられていくものと確信しております。

活動内容としては、従来からのハンズオンやレクチャーによる研修に加え、女性心臓血管外科医の増加推進とともに支援の活発化、人工心肺を理解・習熟するための勉強会の推進、外科教育のための書籍出版やオンライン勉強会の開催、日本心臓血管外科学会雑誌への投稿活動（U-40企画コラム）等が継続的に行われています。ここ四半世紀は著しく社会の高齢化が進んでおりますので、これからは、効果的で安全な低侵襲医療の普及が益々必要になっていくと予想されます。U-40においても、若手心臓血管外科医に対する低侵襲手術を含む高度な手術手技の教育プログラムが提供されるための様々な工夫が重要です。第54回の日本心臓血管外科学会学術集会（浜松市）では、若手心臓血管外科医の登竜門である「Challenger's Live」が復活されますが、引き続きモチベーションが高まるU-40活動が行われると期待しています。U-40は、今後も学会員の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りながら、より充実した教育プログラムを構築する努力を続けてまいります。

2024年2月をもちまして、U-40担当理事としての私の任期は終了致します。これまで歴代の北川哲也先生、新保秀人先生、福田幾夫先生が大きな貢献をされ、現在のような質の高

いU-40プログラムが構築されてきましたが、私は十分な貢献ができず誠に申し訳なく思っております。ここに深くお詫び申し上げます。

U-40は学会員の皆様の大きな協力があつてこそ運営されてきております。これまでの寛大なるご支援に対し心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続き皆様からのU-40活動へご助力を賜りますようお願い申し上げます。

U-40 代表幹事挨拶

大和成和病院 心臓血管外科

高橋 賢一郎



2023年度からU-40代表を拝命した大和成和病院心臓血管外科の高橋賢一郎と申します。長くU-40の顔として活躍してこられた田中千陽前代表から私に代替わりしたことで、以前のような華やかさが失われて方々からの風当たりがきつくなってしまうかとビクビクしておりましたが、大変有難いことに理事の先生方や関係者の皆様から暖かく以前と変わらないご支援をいただいております。この場をお借りして、普段U-40の活動を支えていただいている理事の先生方や関係各所の皆様に御礼を申し上げます。

U-40は何をされていて、何のために存在するのでしょうか。私は代表になってからよくこれを聞かれることで多いのですが、私はいつも「若手心臓血管外科医の道標になる」ことが存在意義であるとお答えしています。

過去に我々が行ったアンケートでは、若手心臓血管外科にとって最も大きな不安は「自分が果たして一人前の外科医にまで成長できるのか」と出ています。初期研究医の頃に各診療科をローテーションし、心臓血管外科の指導医の姿に惹かれて将来を決め心臓血管外科修練医となったが、心身ともに厳しい環境で疲弊し、思い描いたような成長を実感することができず現実の厳しさを思い知る、という経験を多くのU-40世代がしていると思います。ひと度医局や所属施設に入ったら他の世界からシャットアウトされ、他の施設の同年代がどのようなキャリアパスを進んでいるのかわからず、暗中模索を強いられる修練医も多くいるのではないのでしょうか。だから道標が必要だと私は考えます。

U-40はハンズオンセミナー・ウェビナー・学会特別企画・雑誌コラムを指揮し、U-40世代へ学びの場を提供すると同時に横のつながりを提供します。こうした活動で世間の修練医が何を感じ取るかはさまざまだと思います。自分と同じ境遇の仲間と知り合いお互いを刺激しあう人、外の世界（国内の他施設や海外）での修練を志し一步を踏み出す人、研究やノンテクニカルスキルなど手術とは異なる分野に興味を持ち知見を深める人、皆それぞれ自分に必要なきっかけを得てもらうことが我々の願いです。もちろん自力で成長街道を邁進し他者の力を必要としない修練医もきっと多くいることと存じますが、少なくとも私自身はU-40が提

供する情報や繋がりに支えられ、自分の行く末を迷いながらどうにかここまでやってきた修練医の1人です。我々の活動がひとりでも多くの修練医の道標となり、例えささやかなことでも日本の心臓血管外科の未来に貢献することを願って活動に邁進して参ります。

U-40 副代表幹事挨拶

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科

高木 大地



U-40副代表を今年から勤めさせていただいている高木と申します。

約8年間、U-40の活動に携わってきており、支部代表やコラムプロジェクト、NOTSSプロジェクトなどに携わらせていただきました。

これまで多くの幹事の先輩・同輩・後輩の先生方と一緒に活動をさせていただきましたが、驚くべき若手心臓血管外科医たちのエネルギーを目の当たりにしてきました。

このエネルギーが、これまでのU-40の多くの素晴らしい企画を支え、今のU-40があるのだと感じています。

個人的には、最後の2年間で、U-40の活動がサステナブルな活動になるように、成長の場としてだけでなく、所属する施設、学会活動、学術活動としてキャリアアップにつながるような場になるようにしていきたいと考えています。

高橋代表を支え、U-40がさらに羽ばたけるように尽力する所存です。

よろしく申し上げます。

U-40 副代表幹事挨拶

慈恵会医科大学心臓外科

辻本 貴紀



今回高橋先生率いる新体制U-40の副代表幹事に、高木先生と共に拝命いたしました。副代表幹事としてこれまで以上にU-40の活動に協力させていただきたいと存じます。

まだまだ幹事としての活動内容は幾許もないのですが、中山書店エクセレンスシリーズでの司会を務めさせていただいたり、心臓血管外科専門医解説書の分担著者を担当させていただいたり、U-40企画Smith & Nephew社協力の「大人のためのプレゼンテーション」講座の中でデモのプレゼンテーションをさせて頂いたり、非常に有意義な経験をさせていただいております。

また、U-40幹事であることと直接関係はないのですが、去年の8月の心臓血管外科サマースクールにて神戸大学岡田実行委員長のもとでの実務担当者として現場指揮をとらせていただくこととなりましたので、この機会にU-40の活動のことも知ってもらうような企画も行いました。具体的には、サマースクールの講師として積極的にU-40メンバーに参加してもらい、サマースクール初日に特別企画U-40セッションにて吉野邦彦先生、田中千陽先生、和田卓也先生に講演いただき、2日目のハンズオンの際も多くU-40メンバーに学生・研修医の指導にあたっていただきました。この企画をすることで多くのご高名な先生方と学生・研修医というさらなる若手世代と世代間の橋渡しにおけるU-40の存在意義は非常に大きいと実感いたしました。この経験を踏まえ、今後もこのような大規模な学びの場を企画し、多方面へ向けて提供していきたいと思っております。

我々がこのような活動ができるのは、ひとえに心臓血管外科学会の後押しがあつてこそであり、この場をお借りして理事の先生方、事務局の方々に深く御礼申し上げます。今後さらにU-40は時代にあわせて変化しつつ、常に「面白い学びの場」を提供できるよう尽力していく所存です。みなさまにご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

支部紹介

北海道支部

U-40北海道支部では、第53回日本心臓血管外科学会学術総会でU-40特別企画「U-40が考える心臓血管外科領域における地域医療連携の問題点とその試み」を行い、地域医療連携や施設集約などについて討論させていただきました。北海道は広大な土地のわりに、心臓血管外科については都市部(特に札幌市)に施設や医師が集中しており、地方では数少ない施設で広い医療圏をカバーしております。各医療圏で画像連携などの地域医療連携が工夫されておりますが、どのような施設でも幅広く対応できる心臓血管外科医が北海道には必要であり、3大学を含めた35の修練施設で若手教育が行われております。

津軽海峡があるため各支部の皆さんと直接お会いする機会が少ない支部ではありますが、北海道のみならず、全国の活動にも積極的に参加していきたいと思っております。

北海道支部長

旭川医科大学

外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授

東 信良 先生



支部長の東信良です。この数年間、U-40の活動を見守ってきて、若手が自ら考え、それを実行すること、そして、U-40のメンバー同志が所属施設を超えて交流することの大切さをみせてもらってまいりました。

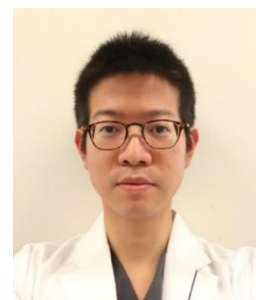
この4月から働き方改革が現実のものとしてスタートするにあたって、若手心臓血管外科医の働き方が変わり、いかに効率良く外科医としての修練を積み上げるかが問われています。日々の時間の使い方や一例一例での学びが重要になってきます。心臓血管外科医を目指して入局してくる若手が極端に減っている事実も大変気になるところだと思います。

心臓血管外科医療の次代を担うU-40メンバーの活動や活躍が、医学生やこれから医療をめざそうとしている子供たちの希望に繋がることを期待しております。

北海道支部代表幹事

市立札幌病院、来年度より白石記念病院に移動予定

内山 博貴



市立札幌病院心臓血管外科の内山と申します。今年度より北海道支部代表に任命いただきました。今年は福島県でのBLCハンズオンにサブリーダーとして参加させていただき、ハンズオン企画の楽しさ、難しさを実感することができました。今年度は北海道支部での活動はあまりなかったのですが、来年こそは北海道でU-40主催のハンズオンを開催し、北海道の若手心臓血管外科医の士気を上げるお手伝いできればと思います。

北海道支部副代表幹事

函館中央病院 心臓血管外科

村瀬 亮太



昨年度までは北海道支部代表を務めさせていただいておりましたが、本年度はU40引退にむけて副代表という立場で幹事を続けさせていただきました。残念ながら本年度は北海道支部としては大きなイベントもなく、あまり大きな仕事もなく、内山代表にも十分なサポートをできなかったとっております。次年度は年齢もありU40の組織は引退させていただきますが、この活動を通してたくさんの将来の日本の心臓血管外科を引っ張るであろうメンバーたちと出会えたことは大きな財産になったと思っています。今後も何かあれば喜んで協力させていただきますので、引き続きよろしく願いいたします。

北海道支部広報

旭川医科大学 血管外科

竜川 貴光



北海道支部の広報を担当しております、旭川医科大学血管外科の竜川と申します。本年度は全体広報を兼任させていただき、戸惑いながらではありますが、Facebookでの広報活動などを行ってまいりました。2023年3月に心臓血管外科学会学術総会での企画を北海道支部として行いましたが、以降は北海道支部としての活動があまりできなかったため、来年度はより活動を企画できたらと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

北海道支部幹事

帯広厚生病院 心臓血管外科

杉本 聡



2023年は心臓血管外科学術総会のU40 企画を主催・コラム執筆を担当し、最も親身にU40の活動に関わることができた年でした。U40幹事も今年でラストイヤーとなります。face to faceのイベントも増えていきますので、積極的に参加し、スキルアップや人脈形成ができればと思います。宜しくお願いします。

北海道支部幹事

北海道循環器病院 心臓血管外科

宮本 寛之



旭川医科大学心臓血管外科所属で、現在は北海道循環器病院に勤務しております宮本寛之と申します。2022年度よりU-40北海道支部幹事となりましたが、コロナ禍のためon lineがメインで活動させて頂いておりました。本年は北海道旭川市で日本心臓血管外科学会学術集会が行われ、道外からも沢山の先生方が足を運んでくださいました。U-40としての学会企画も行われ、準備から当日まで、本当に微力ながらU-40の一員として貢献できたのではないかと考えております。

若手心臓血管外科医を盛り上げていけるよう、微力ながら今後も努力していきたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。

北海道支部幹事

函館中央病院 心臓血管外科

布施川 真哲



北海道支部の布施川です。昨年末は北海道旭川市で日本心臓血管外科学会があり、北海道支部の一員として一部活動に関わらせてもらいました。地域医療の問題を考える良い機会となり、私自身も勉強になったと感じています。また、去年はコロナが明け少しずつ以前の生活が戻ってきました。私は現在函館市内の勤務であり、今年も地域からU40の活動を盛り上げていければと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

北海道支部幹事

KKR札幌医療センター 心臓血管外科

渡部 克将



KKR札幌医療センター心臓血管外科の渡部と申します。北海道支部の幹事として活動させて頂いています。2023年度は旭川での心臓血管外科学会においてU40主催のハンズオンセミナー（CABG, MAZE）に参加し、その他には拡大会議やU40幹事の飲み会にも参加させて頂きました。各支部の幹事の方々とお話ができ、自分もU40の一員だと自覚しました。加えて7月の冠動脈外科学会においてもU40主催のハンズオンセミナーに参加させて頂きました。まだ幹事としてはほとんど仕事しておらずセミナーに参加しているばかりですが、今後は可能な限り活動に参加させて頂き北海道支部のみならず全国のU40を盛り上げられるように頑張っていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い致します。

札幌医科大学 心臓血管外科

沼口 亮介

札幌医科大学 心臓血管外科

在原 綾香

札幌医科大学 心臓血管外科

武川 慶

札幌ハートセンター 心臓血管外科

若林 尚宏

東北支部

東北支部は東北 6 県(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)で構成される支部です。東北の福島には EBM の FIST があり、手術トレーニングには恵まれた環境にあります。ここ数年はコロナの影響により、会員が直接会うことはできませんでしたが、幹事は個性的な者ばかりで、飲み会になればそれは楽しいメンバーです。東北支部ではアットホームな横のつながりは、日常の臨床の疑問の共有や、時には患者の紹介など、非常に多くの面で活躍しています。今後も、アットホームな東北支部は、3 つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思っています。

東北支部長

東北大学 心臓血管外科学分野
齋木 佳克 先生



東北支部代表幹事

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科
高木 大地



東北支部代表を務めさせていただいている高木大地と申します。NOTSSプロジェクト、コラムプロジェクト、U-40 Webinarプロジェクトにも所属しており、日々勉強させていただいています。

今年の目標は、U40が目指す3つの笑顔を作り上げながら、それが継続できるように引き続き活動していきたいと思っています。若手心臓血管外科医の皆さん、U-40が目指す「3つの笑顔」を一緒に作り上げていきましょう！！よろしくお願ひします！！

東北支部副代表幹事

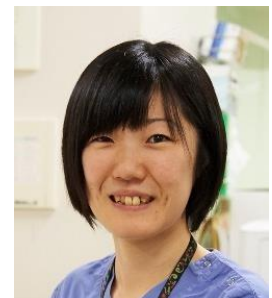
弘前大学医学部 胸部心臓血管外科
小渡 亮介



10年前にこの会が始まり、東北の心臓外科医同士の距離が縮まったことがほんと今までの自分の成長に繋がっています。自分なりに報われる努力の仕方が見えてきて、下の世代が苦しむポイントも見えてきた10年でした。僕はそろそろU40卒業ですし、自分の修練は勿論ですが、若手の皆さんが手術の本質を捉えて手術を学べて、人との繋がりを増やせる場を提供していきたいと考えています。その過程で色んな失敗をするでしょうが、これまでになかった面白いことにトライしていきます。U35くらいの先生方がこの組織をうまく利用、なんなら運営して勢いのある会になってくれることを願います。あまり難しいことはせず、若いうちは自分の腕を磨き、業績を伸ばすことに労力を費やしてもいいのではないのでしょうか?!このU40世代で業界のレベルを押し上げ、〇〇世代と言われてやるぜ!みたいな気概で頑張っていきましょう!…と滑ったところで、また一年宜しくお願ひします

東北支部広報

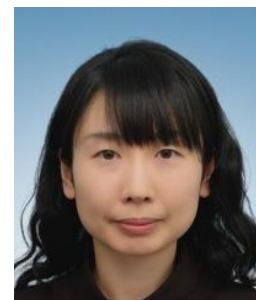
山形大学医学部附属病院 第二外科
石澤 愛



山形大学心臓血管外科の石澤愛です。U40 は医局や施設を越えた若手心臓 血管外科医の先生方と繋がる貴重な機会です。徐々にオンサイトで顔を合わせる機会が増えてきているので、U40 の活動を通じて学べる事、得られる事、医局や施設の垣根を超えた同年代の先生方との交流を大切にしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

東北支部幹事

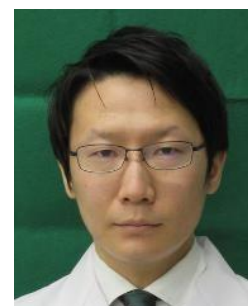
東北医科薬科大学 心臓血管外科
武田 美貴



2022 年より U-40 東北支部幹事を務めさせていただいております、東北医科薬科大学心臓血管外科の武田美貴と申します。研修医の頃から U-40 の企画に参加し、たくさんの偉大な先輩方にご指導いただきました。U40 の活動を通じて私自身も成長し、発展に貢献できたら嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

東北支部幹事

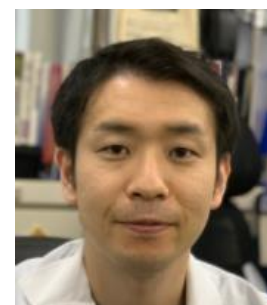
仙台厚生病院 心臓血管外科
長沼 政亮



東北支部幹事をさせていただいております。
勉強会での司会や発表など様々な経験をさせていただき大変勉強になりました。コロナ禍でなかなか直接対面での Discussion ができないのは残念ですが、オンラインで様々な先生とやりとりできるいい機会ととらえ、来年度も頑張りたいと思います。

東北支部幹事

福島県立医科大学 心臓血管外科
石田 圭一



東北支部の一員として活動させて頂いております、福島県立医科大学の石田圭一と申します。東北内でもなかなか支部のメンバーと顔を合わせる機会が少なく寂しさはありますが、時々ZOOM を通してでも各々の熱量を感じ、刺激を貰って活力とさせて頂いております。微力ながらも U-40 活動の発展に尽力し、自身の研鑽も積んでいきたいと思っております。今年度も宜しくお願い致します。

東北支部幹事

岩手医科大学付属病院 心臓血管外科
田林 東

2018 年より U40 東北支部の幹事を務めさせていただいております。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように、微力ではありますが、努力したいと思います。よろしくお祈いします。

東北支部幹事

弘前大学医学部 胸部心臓血管外科
今村 優紀

2022 年から東北支部幹事に加わりました。今まで BLC や ALC に参加し多くの刺激を受けていました。若手修練医が切磋琢磨しながら成長出来る場となるよう尽力して参ります。

関東支部

関東甲信越支部は7名で力を合わせて活動しました。
今年度も2024年1月13日にPiO PARK EBM羽田医療技能訓練所でBLCハンズオンを現地開催しました。関東開催ということで関東甲信越支部幹事も多数参加しました。
来年度も関東開催のBLCを継続したいと考えております。

関東支部長

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科
鈴木 孝明 先生



関東支部代表幹事

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘



2022年度から関東甲信越支部代表に就任しました伊藤貴弘です。
今年度も関東でBLCハンズオンセミナーを開催しました。東京支部代表の櫻井先生を中心として、関東甲信越支部幹事のサポートもあり大盛況でした。
また先天性ハンズオンでは、関東甲信越支部長の鈴木孝明先生にご協力いただき、ラムの心臓に心室中隔欠損を作成してパッチ閉鎖を行いました。
オンラインと現地開催のメリットを両方生かしながら、幹事を中心に若手心臓血管外科の修練のサポートを目指していきます。2022年度から関東甲信越支部代表に就任しました伊藤貴弘です。

関東支部副代表

千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科
西織 博信



千葉大学医学部附属病院の西織浩信と申します。U40関東甲信越支部幹事を務めさせて頂き今年で3年目になりました。今年は心臓血管外科専門医認定試験の解説本に携わらせて頂いたことが思い出深く、やりがいのある貴重な経験になりました。その他、心臓血管外科雑誌のコラムにて同世代の先生方と新心臓血管外科専門医制度について座談会を行い、記事を書かせて頂きました。新心臓血管外科専門医について詳しく知って頂く一助となりましたら嬉しく思います。夏にはサマーセミナーに初めて参加させて頂き、多くの熱意ある学生や著名な先生方と交流することができました。年4回の現地開催でのBLCにも運営として参加させて頂き、本当に勉強になりました。改めて心臓血管外科U-40にいつも大変貴重な機会を頂いていると感じています。今後も心臓血管外科U40の活動に関東甲信越支部幹事として携われる喜びを感じつつ、微力ながら貢献していきたいと思っております。

関東支部広報

サンライズファミリークリニック
澁谷 泰介

関東支部幹事

新松戸中央総合病院 心臓血管外科
宮崎 豪



新松戸中央総合病院心臓血管外科の宮崎豪と申します。2022年より関東甲信越支部幹事を務めさせて頂いております。以前は良い環境で修練できている若手心臓血管外科医は少数派でしたが、これまで多くの先生方のご尽力があり、最近では所属施設外でも修練の機会が増え、情報の共有も活発になってきました。私自身もU-40関連のトレーニングや勉強会は非常に勉強になり、実臨床において質向上につながったと感じていました。これからはU-40の活動に積極的に関わり、優れた心臓血管外科医がより多く生まれるような環境をつくっていきたく思います。至らない点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

関東支部幹事

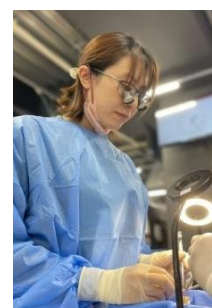
済生会宇都宮病院 心臓血管外科
時岡（山形） 美里



防衛医大卒後6年目の時岡美里です。現在、期間限定ですが、済生会宇都宮病院で研修しています。この1年間では、前U-40代表の田中千陽先生を筆頭とした心臓血管外科専門医試験過去問の解説集作成に取り組みました。微力ではありますが、他の多くのU-40幹事の先生方と一緒に作り上げることが出来、その一員となれたことを誇りに思います。先日、ウェビナーチームが発足しましたが、今後のU-40幹事として後世に残せるような活動ができるように努めたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

関東支部幹事

済生会横浜市南部病院 心臓血管外科
森 佳織



横浜市立大学附属病院の森と申します。2023年度はポストコロナで、オンサイトでのBLCやセミナーが増え、実りの多い1年だったのではないかと思います。ご指導下さった先生方や、企画・運営に携わって下さったU-40の先生方、ご尽力頂いた関係者の方々に深く感謝申し上げます。私自身もU-40の活動に少しでも尽力できるよう頑張ります。折角の機会ですので皆で参加して楽しく切磋琢磨していきましょう！また今年も女性医師プロジェクト主催の勉強会も始動していく予定です。未熟者ですが、何卒よろしくお願いいたします！

関東支部幹事

順天堂大学
陣野 太陽



順天堂大学の陣野太陽と申します。2023年よりU-40幹事として加わらせて頂きました。3歳頃より医師2年目まで長崎県で生活していたため骨の髄まで長崎の血が流れており、今でも西に足を向けて寝ることができません。

その後倉敷中央病院で4年間、埼玉石心会病院で4年間過ごしました。

そうして心臓血管外科に携わることになり10年近くが経ちますが、日本のためにより良い心臓血管外科のあり方を自分たちで考え、作っていきたいという思いが芽生え、それが大きくなってきました。そこに近づくチャンスがあるのではないかと思い、U-40に加わらせて頂くことになりました。とはいっても特にまだアクティブに活動できているわけではありませんが、40歳までのあと数年で皆さんと少しでも意見交換したり交流など持てたら嬉しいです。今年もよろしくお願ひします。

伊勢崎市民病院 心臓血管外科
三木 隆生

済生会宇都宮病院
亀田 柚妃花

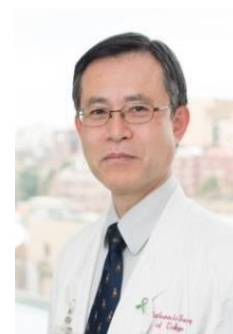
東京支部

東京支部は修練施設が密集しており、U40心臓血管外科医が多い支部の一つです。幹事構成は各分野にバランスの良いメンバーとなっており、成人心臓大血管が7名、先天性が3名、末梢血管が1名で、幅広い活動を行っています。主要幹部やプロジェクトリーダーとして活躍している活動的な幹事が多い支部でもあり、著名な教授・講師の先生方との交流の機会も多くあります。

本年度は前支部代表の丸野先生をはじめ、平野先生、伊達先生が退任され、新たに田中先生、原田先生が幹事に就任し、変化を迎えました。また、新型コロナウイルスの影響が変化する中で、BLCハンズオン活動が本格化し、1月には関東支部と共同で開催することができました。来年度はU40が一層発展するよう、新たなメンバーでより一層活動してまいります。

東京支部長

東京大学大学院医学系研究科 心臓外科
小野 稔 先生



2020年以来3年半にわたる新型コロナウイルス感染症pandemicの呪縛から解放され、2023年からようやく本来のU40としての活動を再開することができたことは大変な喜びです。2022年12月に、羽田のPio Parkで日本全国から心臓血管外科の次世代を担うであろう若手が集結してBLCが再開されました。私もインストラクターとして参加しましたが、ベテランからの臨場感あふれる直々の指導を受けた若手の息吹にむしろ私自身が鼓舞されていました。

今年度のU40東京支部は大きく世代交代する年となりました。代表は丸野恵大先生から東京医科歯科大学の櫻井啓暢先生へ、副代表は平野暁教先生から榊原記念病院の桑原優大先生へ交代となり、伊達数馬先生が幹事を退任して、東京大学の田中駿先生と慶應機塾大学の原田大暉先生が新任幹事に就任してくれました。新しい風を吹き込んでこれまで以上に仲良く、楽しく、活発にU40活動を進めてくれることを心から期待しています。

東京支部としては2023年中にはwebinar等の支部活動はありませんでしたが、2024年1月13日にPio Park羽田で関東支部と共催でBLCを開催します。これには日本全国の名だたる心臓血管外科医が指導に来て頂くことになっており、生涯忘れることができないような密なhands-on trainingを受けることができるのではないかと思います。

2024年4月から、医師を対象とした時間外労働の上限規制のある働き方改革が実施されます。知恵を使いながら限られた時間を有効に生かすアイデアをU40の皆さんからたくさん出してください。病院ごとに得意分野と不得意領域がそれぞれ必ずあります。皆さんの柔軟な発想と溢れんばかりのエネルギーでこの難局を悠々と乗り越えていくことを期待しています。

東京支部代表幹事

東京医科歯科大学 心臓血管外科

櫻井 啓暢



東京医科歯科大学心臓血管外科の櫻井啓暢と申します。本年度より東京支部代表幹事を務めさせていただいております。以前は U40 に参加し、知識や手術技術を修得し、同世代の仲間との交流を楽しむ場となっておりました。2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で制限のある日々を過ごしておりましたが、今年度は BLC の現地開催という大きな変化を迎えることができました。

全国で計4回の BLC 開催が行われ、東京でも福島、福岡に次いで3回目の開催を迎えました。これらの困難な時期にも関わらず、多くの方々のご協力により有意義なイベントとなりました。

私自身が U40 を通して経験した貴重な機会を、今後は提供していけるよう活動の充実に努めてまいります。

東京支部副代表

榊原機記念病院 心臓血管外科

桑原 優大



榊原記念病院 心臓血管外科 桑原 優大と申します。

先天性心疾患全般を専門としております。活動を通じて医局や施設の垣根を越えた同世代の先生方と交流を持ち、志高く日本の心臓血管外科を盛り上げて行けたらと思います。宜しくお願い致します。

東京支部広報

平塚市民病院 血管外科

林 啓太

東京支部幹事

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科
吉野 邦彦



2018 年度より U-40 東京支部に所属し、Advanced Lecture Course (ALC) のプロジェクトリーダーを務めさせていただいております。U-40 の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40 幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思います。

東京支部幹事

東京女子医科大学
片桐 絢子



2020年度から東京支部幹事として、U-40で活動しております。気づけば40歳という節目が近づいていることに焦りを感じています。同世代の横のつながりを通して、心臓外科医としての多様な在り方を模索できるよう微力ながら活動していきたいと思っております。

東京支部幹事

聖路加国際病院 心臓血管外科
玉木 理仁



2022 年度より東京支部の幹事を拝命いただきました、聖路加国際病院の玉木理仁と申します。U-40 にはこれまで BLC のハンズオンや座学などで大変お世話になってきました。これからは、少しでも恩返しができるように幹事として精一杯務めさせていただきます。まだまだ未熟ですが、心臓血管外科の若手を盛り上げていきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

東京支部幹事

慶應義塾大学医学部 外科学(心臓血管)

原田 大暉



慶應義塾大学病院の原田大暉と申します。現在慶應の医局人事で、本院にて研鑽を積んでおります。本年度より幹事を務めさせていただいております。先天性領域をメインとしてこれから修練していき、U-40での活動を通して、縦横のつながりを持ち、これからの心臓血管領域、先天性領域を盛り上げたいと考えております。宜しくお願いします。

東京支部幹事

東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科

星野 理

中部支部

U-40中部支部代表の金沢大学心臓血管外科の上田秀保です。

コロナがあけて、少しずつですが以前のようにBLCを行うU-40としての活動が増えてきています。中部支部は太平洋側の東海地方と日本海側の北陸地方から構成されています。東海地方では心臓血管外科医同士の交流は、活発であるように見えますが、日本海側は太平洋側に比べまだ交流は盛んではありません。全国も重要ですが、中部支部内での交流も活発にできるようなきっかけとして、U-40中部支部が役立てるよう活動していきます。残炎ながら2023年度における中部支部としての活動はほとんどなかったのですが、2024年の心臓血管外科学会では、中部支部によるU-40特別企画をさせていただきます。特にU-40会員としては気になるであろう10年後の自分を考える会にしたいと考えております。

若手の心臓血管外科医のみならず、今後指導する側としての心臓血管外科医自体にも役立つような内容になるよう準備しております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

中部支部長

藤田医科大学病院 心臓血管外科
高木 靖 先生

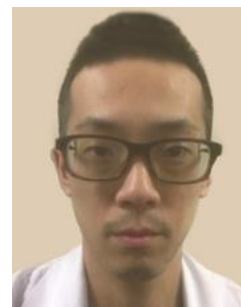


昨年度より日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しております、藤田医科大学心臓血管外科の高木です。令和6年は年初より北陸で大きな地震があり、被害に遭われた当学会関連の方には心よりお見舞い申し上げます。

さて、U40の活動は年々充実してきており、真の意味でいろいろな学会を牽引する役割となって来ております。しかしながら、今後は少子高齢化の影響もあり日本心臓血管外科学会の若い先生の入会者数は減少してくることが予想されます。万が一そうなっても欧米のように少数精鋭で頑張る行けるように、入会初期のころから今よりさらに充実した環境でトレーニングを受けられ、比較的若い時期より多くの執刀経験が積めるような環境をU40の先生方と作っていくことが重要だと思っております。今後もU40活動を全面的にバックアップする所存でありますので、暖かいご支援ご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

中部支部代表幹事

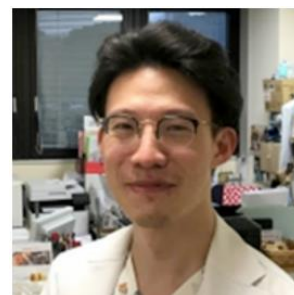
金沢大学 心臓血管外科
上田 秀保



U-40中部支部代表の金沢大学心臓血管外科の上田秀保です。中部支部の代表を拝命して、日が浅く、何事も関わりが薄くなっている感じで恐縮です。U-40の活動を通して、意識していることは、全国の心臓血管外科医と関われ機会を作ることです。もともと、北陸地方という地域柄か、自分の考えとしては閉鎖的な状態でした。しかし、U-40の活動に関わらせて頂いて、全国様々な外科医と関わることができ、貴重な機会を得ていると思います。日々の臨床に忙しいのは誰もがそうだと思いますが、少しでも他社と関わり、自身の価値観を広がられるきっかけとなるよう、尽力していきます。今年で40歳を迎え、活動も限界があると思いますが、自分が老害とならないよう気をつけ、頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

中部支部副代表

富山大学 心臓血管外科
鳥塚 大介



副代表に就任して1年が経ちました。働き方改革や、施設集約化が進められ、ただがむしやらに働いていけばいいというわけには行かなくなってきたなか、若手同士、効率よく成長し、成果を上げるにはどうすればよいか考えていきたいと思っています。まだ十分な仕事ができているとは思えませんが、少しでも中部地区で心臓血管外科が発展していくよう、お手伝いできたらと思います。

中部支部広報

静岡県立こども病院 心臓血管外科
中村 悠治



前年と比べると2023年はU40全体としても中部支部としても大きな活動のない落ち着いた1年でした。個人的にも少しずつではあるものの手術を任されるようになり、支部の活動よりは病院実務を優先させていただきました。学会発表を含め、来年はより精力的に活動したいと思っています。

中部支部幹事

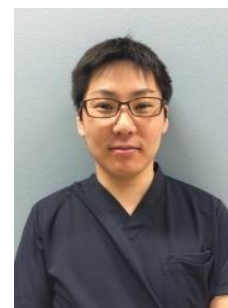
愛知医科大学 血管外科
今枝 佑輔



愛知医科大学 血管外科の今枝です。早いもので、2024年は40歳を迎えるにあたりU-40の活動も卒業が近づいてまいりました。中部支部また全国の血管外科メンバーとして、同年代の先生方とともに歩み、交流を深めさせて頂きました。ここでの活動は今後の人生のかけがえのない財産になると信じています。残りわずかの期間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中部支部幹事

愛知厚生連海南病院 心臓血管外科
西 俊彦



JA愛知厚生連海南病院心臓血管外科の西俊彦と申します。今年で40歳になりますので、U40での活動も残り少なくなってきました。U40の様々な活動がスムーズに行われるよう、微力ながら頑張ります。

中部支部幹事

日本赤十字社和歌山医療センター 心臓血管外科
矢野 啓太



日本赤十字社和歌山医療センター 心臓血管外科 矢野啓太です。学会もほぼオンサイトとなり、コロナ禍以前の状況に戻ってきており喜ばしい限りです。2024年2月の心臓学会では特別企画を中部支部が担当させて頂いており、皆様とお会いできるのが楽しみです。僕自身としては40歳まであと2年程度となりましたが、より一層心臓血管外科医としてU-40の活動の力になれたらと考えています。よろしくお願いいたします。

中部支部幹事

三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科
別所 早紀



三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科の別所早紀と申します。成人心臓血管外科を専攻しています。自分の立場や環境も都度変化しているのですが、なかなか認識を変えられずに、現状維持にすすんでしまいがちですが、今年こそはその殻を破れるように、外に目を向ける余裕を持てる1年にしたいと思います。これまでの経験をU40での活動にいかせられるよう、頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。

中部支部幹事

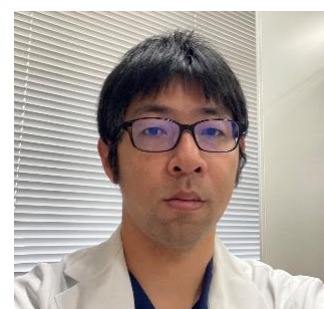
刈谷豊田総合病院 心臓血管外科
北村 浩平



2022年よりU-40中部支部幹事として参加させていただいております北村浩平と申します。2023年8月より名古屋市立大学病院から刈谷豊田総合病院に異動して勤務しております。2023年はウェビナーのパネリストや、心臓血管外科専門医認定試験過去問題集の解説作成などに参加させていただきました。微力ではありましたが、解説集が実際に形となって出版されたことはとても嬉しいことで、非常に貴重な経験をいただけたと実感しております。引き続き、U-40の活動に少しでも貢献できるよう尽力させていただきます。

中部支部幹事

JA愛知厚生連豊田厚生病院 血管外科
秋田 直宏



JA愛知厚生連豊田厚生病院血管外科の秋田直宏と申します。2023年よりU-40の活動へ携わらせて頂くことになりました。多くの同世代の心臓血管外科の先生方と交流を深め、私自身も多くを学びながら、心臓血管外科の発展へ貢献できるように頑張ります。宜しくお願いします。

中部支部幹事

藤田医科大学 心臓血管外科
松橋 和己



藤田医科大学心臓血管外科所属の松橋和己です。手術、大学院での臨床研究、心臓専門医取得を控え、プライベートでは一児の父親となり、今年も充実した一年となりそうです。働き方改革に負けないよう時間を有効活用し自己研鑽しつつ、学生や若い先生たちに心臓血管外科に興味を持ってもらえるような環境作りもしていきたいと考えています。U40としてはまだ活動できておりませんが微力ながら貢献できればと考えております。本年もよろしくお願いいたします。

近畿支部

近畿支部は滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の6府県で構成されており、現在滋賀・和歌山を除く4府県から計7名の幹事に参加頂いています。近畿は非常に病院数の多い地域であり、おそらくはU-40の若手心臓血管外科医も多く在籍しているであろう地区だと思います。限られた症例数の中で、若手の数が多いというのは症例の取り合いになってしまう、、、というのはもはや過去の話になっています。今や心臓血管外科医を目指そうというresidentの数は減り、ほとんどの施設で人員不足になっている現状です。この現状を打破するためには若手同士で切磋琢磨し、次世代の心臓血管外科医の育成が急務です。少しでもそれをお手伝いできればと思っています。参加したい方がいらっしゃったらいつでもご連絡ください。お待ちしております。

近畿支部長

京都府立医科大学
夜久 均 先生



近畿支部代表幹事

慈恵会医科大学心臓外科
辻本 貴紀



去年度より近畿支部代表に拝命いただきました辻本貴紀と申します。私事ではありますが2023年12月に国内留学という形で神戸大学心臓血管外科から慈恵医大心臓外科に異動となり、今後の予定について不明な点も多いですが、引き続き近畿支部幹事として活動させていただきたいと存じます。

去年は近畿支部として心臓血管外科学会誌のコラムにて若手心臓血管外科医の手術トレーニングの現状とOff the Job Training制度に対する意向についてまとめさせて頂きました。そして、今年近畿支部にてコロナ禍でできていなかったBLCの開催を計画しております。

引き続きU-40の企画を通して、近畿ないし全国におられる若手の心臓血管外科医の方が交流し一緒に学んでいける機会をどんどん作っていきたいと思っていますので、是非ともU-40での活動に興味があるかたはご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

近畿支部副代表幹事

埼玉県立小児医療センター
本宮 久之



U-40近畿支部副代表の本宮久之（ほんぐうひさゆき）と申します。U-40は心臓血管外科学会の正式な下部組織で、心臓外科の将来を担う組織と言っても過言ではありません。以前のように、豊富な若手が競争して選び抜かれるような世界ではなくなっています。横のつながりを作って少数精鋭で頑張っていかなければいけません。U-40としてそのお手伝いのできればと思っています。みなさん、一緒に頑張りましょう。U-40に興味がある人はいつでも声をかけてください。

近畿支部広報

福岡市立こども病院 心臓血管外科
永瀬 崇

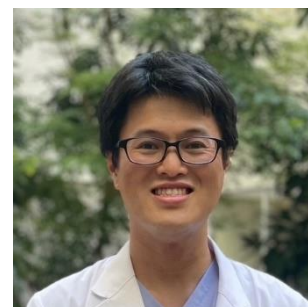


近畿支部広報を担当しております、福岡市立こども病院の永瀬崇（ながせたかし）です。本年度は京都を離れ福岡市立こども病院に国内留学する機会をいただいております。近畿からは遠く離れてしまいましたが、引き続き近畿支部幹事として活動させていただきたく存じます。

全国的に外科離れが懸念され、若手心臓血管外科医の数も少ないですが、そのような中で若手心臓血管外科医同士のつながりを持てるU40は非常に貴重な交流の場であると考えています。微力ではありますが、U40の活動にお力添えできれば幸いです。よろしく願いいたします。

近畿支部幹事

国立循環器病研究センター
藤内 康平



国立循環器病研究センター心臓外科の藤内 康平（とうない こうへい）と申します。U40近畿支部の活動を通じて、Wet Labや学会での交流から若手心臓外科医の横のつながりを作り出すとともに、臨床修練から専門医取得や大学院、基礎研究などの自身の経験をもとに、次世代の若手心臓外科医のキャリア形成に少しでも貢献できるよう尽力致しますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

近畿支部幹事

大阪公立大学 心臓血管外科
野田 和樹

大阪公立大学に帰って2年目となりました。引き続きU-40の活動に携わることができ、大変光栄に思います。今年はオンサイトでの企画が増え、より一層交流が持てればと期待しております。今後とも宜しくお願い致します。

近畿支部幹事

関西電力病院 心臓血管外科
北方 悠太



U-40の活動を通して、若手の交流を深め心臓外科医の育成過程の充実を図れるよう努力して参ります。心臓外科を目指す若手が増えるような役割を担っていくことができると考えています。未熟者ではありますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

中国四国支部

中国四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。各医療圏を守る役割をそれぞれの心臓血管外科病院が担っていると思います。対面でのOff-JT・研究会・学会が再開されてきました昨今、若手修練の場を我々も提供していければと存じます。短時間で会場に到達できるwet labo開催は難しいですが、ありがたいことに熱い講師の先生方に恵まれていますので若手が望むOff-JTの機会を大切にしていきたいです。経費の面、働き方の面など様々な要因で頻回な開催が難しい時代です。意欲のある先生方は是非Off-JT (Basic Lecture Course) にご参加ください。我々支部幹事も横のつながりを大切に切磋琢磨していく所存です。引き続きよろしくお願いたします。

中国四国支部長

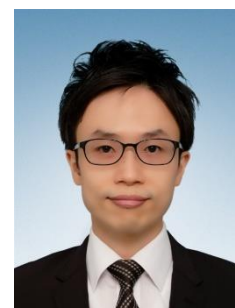
山口大学大学 器官病態外科学
濱野 公一 先生



U-40の中四国支部長を務めている濱野です。U-40の中国四国支部は、令和5年は、CABGに関するアンケート調査を行い、その結果を日本心臓医血管外科学会誌に報告しています。また、今年の3月には、対面でのハンズオンセミナーも予定されています。2023年は、コロナ禍の影響が残っており、対面での活動に制限がありましたが、制限も徐々に解除されつつあります。U-40の先生方が多忙な中、自らのお考えで企画を立案され実行されるのに敬意を表します。非力ではありますが、U-40のために尽力しようと思っておりますので、どうかよろしくお願いたします。

中国四国支部代表幹事

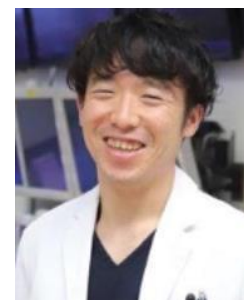
岡山大学病院 心臓血管外科
井上 善紀



日常の勤務以外で学べる機会・刺激がU-40活動の中にあると思います。中長期的な目標を達成できるよう日々少しずつ自分のとりくみ（練習・勉強・趣味など）を修正・改善しつつつけていくことを昨年に続き今年も目標にします。とあるプロサッカー選手の自分の中の妥協と戦うという言葉を日々念頭におきたいです。

中国四国支部副代表

近森病院 心臓血管外科
衣笠 由祐



高知県幹事の衣笠由祐です。この1, 2年でU-40の認知度が一層高まっていると感じます。有意義なコンテンツも多数発信されており、この一端に関わっていることを嬉しく思います。オンラインだけでなく、再びオンサイトの企画も増えてきましたので可能な限り参加し、交流を深めていきたいと考えています。そして我々だけでなく、未来の心臓外科医が魅力を感じるコンテンツを提供できる環境を構築できるよう尽力して参ります。

愛媛県立新居浜病院 心臓血管外科
浪口 謙治

中国四国支部広報

広島大学病院 心臓血管外科
呉 晟名



広島支部の呉晟名です。U-40の活動に関わらせていただき、同年代の先生方が学術的にも臨床的にも活躍されている姿を見て大変刺激を受けており、一層身が引き締まる思いです。COVID19が落ち着き、少しずつ現地ハンズオンセミナーも始まってU-40の活動が増えていく中、微力ながら心臓血管外科の発展に少しでも力添えできればと思います。本年度も何卒よろしくお願いたします。

中国四国支部幹事

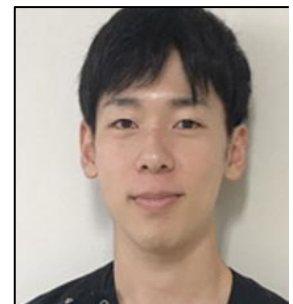
徳山中央病院 心臓血管外科
松野 祐太郎



中国四国支部、山口県幹事の松野祐太郎です。U-40幹事としての活動は今年で5年目となりました。2023年5月にはCOVID-19は5類感染症に変更となり、世間一般には平時となり、一息ついた心地です。学会も現地で参加ができ、活動の幅も広がり、日々充実していると感じます。U-40の活動含め、ますます精進していく所存です。今年も皆様と現地で会えることを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

中国四国支部幹事

愛媛大学 小児心臓外科
坂本 裕司



小児心臓外科医としての修練は厳しく、全国的に外科医の育成は重要な課題だと思います。施設・医局の垣根を越えて繋がりを広げられるのがU40の魅力です。微力ながらU40の活動に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

山陰労災病院
堀江 弘夢

香川大学病院
池田 千晶

岡山大学病院
杭ノ瀬 慶彦

九州沖縄支部

当支部は九州・沖縄8県を中心に活動をしています。昨年度までで支部代表幹事の和田久美子先生を含めて、5名の幹事が退任となり、新たに7人の先生を幹事に迎え、合計10名、半数以上が新任というフレッシュなメンバーで活動することになりました。新型コロナ感染流行の影響で数年間、中止となっていたBLCですが、今年度は全国で合計4回、現地開催を行うことになり、そのうちの1回を2023年11月に福岡大学病院で開催いたしました。九州に限らず全国から若手心臓血管外科医の先生が参加し、九州沖縄の著明な先生方から手厚い指導を受け、大変好評でした。講師の先生方をはじめ、多くの方の協力のおかげであり、感謝申し上げます。いよいよ働き方改革が始まるという中で、九州・沖縄地区で新たに心臓血管外科になろうとする医師が減っているのが現状です。心臓血管外科の魅力を伝えるためにも若手同士で切磋琢磨し、互いに協力し合える環境づくりが大切だと思います。そのような場を今後も作っていただけるように努力する所存ですので、よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部長

大分大学医学部附属病院 心臓血管外科
宮本 伸二 先生



U-40の存在意義の別の側面としてネットワークがあると思います。つまり、一点にアクセスすると全体への周知が速やかに行われる。医師として共有部分を多く持つ（言い換えると他領域、他年代とは異なる特色を持つ）集団ですからそれにマッチした情報を伝え、レスポンスを得るには本当に優れた伝達システムです。昨年はその機能を発揮してもらいました。私が主催した第56回日本胸部外科学会九州地方会に際して自己心膜による大動脈弁再建（尾崎法）のワークショップを企画したのですが、九州の若手に勉強してもらおうと古賀先生にお願いしてU-40のネットワークを通じて参加者を募っていただきました。古賀先生も含む10名の方々に参加していただき、通常のワークショップの中のベーシック編を学んでもらいました。既成概念にとらわれていない若者とのやり取りはとても新鮮でした。他地区でも同様の展開ができたらと思っています。このように今後はU-40の活動を支援するという形だけではなく、U-40を理由する企画も学会側として提案していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

九州沖縄支部代表幹事

光晴会病院
古賀 佑一



渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生、和田久美子先生に次いで、本年度より幹事の拝命と同時に九州沖縄支部の代表幹事を拝命した、古賀 佑一と申します。佐賀大学医学部 胸部・心臓血管外科の医局に所属しております。幹事拝命の際に代表幹事の相談を和田先生よりされたときには大変驚きましたが、医局の先輩である野上先生からも後押しを受け、代表幹事としてこの1年を走ってきました。その中で現地開催のBLCを福岡で行った際に久しぶりに医局や病院の枠を越えて、同世代の先生方と交流することができ、U-40の大きな魅力の一つである「若手同士の横のつながり」を、改めて私自身も肌で感じることができました。このつながりを多くの先生方に実感していただけるような活動を続けていきたいと思っています。心臓血管外科医を目指す若手が減っている現状では、大学・病院を越え、若手心臓血管外科の先生方が協力しあっていく必要があると感じています。九州沖縄だけでなく、全国の先生の力に少しでもなれればと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

九州沖縄支部副代表幹事

大分岡病院
阿部 貴文



2018年より九州沖縄支部のU40幹事をさせて頂いており、2023年より副代表を拝命しました。以前はCOVID-19のために、オンラインが中心となっていましたが、2023年について福岡でBLCを再開しました。直接顔を合わせて同世代の先生との交流する機会があることは、改めて良いことを実感しました。九州沖縄支部代表の古賀先生とともに盛りあげていきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。若手の先生は是非U40への積極的な参加をお待ちしています。

九州沖縄支部広報

鹿児島大学 心臓血管外科
立岡 修治



2022年よりU-40九州沖縄支部の幹事を務めさせて頂いており、早いもので2年目となりました。現在は広報を担当させて頂いております。COVID-19の影響で対面での交流がほとんどありませんでしたが、2023年11月に九州支部でもBasic Lecture Courseを現地開催することができました。多くの若手の先生、また指導の先生方にご参加頂き、有意義な時間を過ごすことができ、改めて現地開催の良さを実感しました。私の任期はもう後僅かですが、少しでもU-40の活動に役立てるよう、微力ながら頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

琉球大学病院 血管外科
比嘉 章太郎



皆様こんにちは。U-40 九州沖縄支部幹事を務めます比嘉章太郎と申します。私はまた血管外科グループとしても活動しております。今年が40歳になる年であり、U-40では最終年度となる2023年度に目立った活動ができず、少し悔しい気持ちもあります。私自身少し体調を崩してしまい、またそのことで健康であることの大切さ、元気に働けることの大切さを改めて知る貴重な時間となりました。U40を卒業しても微力ながら皆様の活動を支援していければと思っております。

九州沖縄支部幹事

熊本市民病院
岩橋 啓介



昨年度より九州沖縄支部幹事を務めております熊本市民病院の岩橋啓介です。昨年度はコロナが5類となり、各地で様々な活動が制限なくできた一年だったような気がします。私自身も微力ながらBLC企画の手伝いもさせてもらい、諸先輩方から学ぶことも多く、また同世代からもたくさん刺激を受け非常に有意義な時間を過ごせたと思っております。今年度もより一層U-40での活動を盛り上げ、周囲の方々に影響を与えられるような一年になるよう尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

産業医科大学 心臓血管外科
岸上 赳大



産業医科大学心臓血管外科の岸上赳大と申します。今年度より九州沖縄支部の幹事を務めております。今年度はCOVID-19の流行で止まっておりました各支部でのBLCが再開し、福岡でも開催させていただきました。開催にあたり様々な方にサポートいただきながら、盛況のうちに終わられたのではないかと思います。今回の反響をフィードバックし、次回以降の開催につなげて参ります。私自身も講師の先生方や参加いただいた先生方、幹事の皆様の熱量に圧倒されながらも大変よい刺激となり、非常に学びの多いものとなりました。まだまだ未熟ではございますが、今後も様々な活動を通して自身も学びながらU-40の発展に寄与できればと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

大分県立病院 心臓血管外科
田口 駿介



2023年より九州沖縄支部幹事をさせて頂いております大分県立病院の田口駿介と申します。昨年は久しぶりの現地集合でのハンズオンセミナーの開催も実現し、参加された先生方の充実感溢れる表情を拝見致しました。

今年も微力ながら、活動のお手伝いをさせて頂ければと存じます。至らぬ点も多いかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

福岡大学
早麻 政斗



2023年度からよりU40の幹事として活動に参加させていただきました早麻と申します。昨年は、サマースクール、ハンズオンセミナーに参加させてもらいU40の活動をお手伝いさせてもらうだけでなく、自分自身も刺激をもらいました。今年もU40の活動を通して自分自身も学びつつ、少しでも貢献していきたいと思ひます。

九州沖縄支部幹事

熊本大学病院
日高 秀昭



九州沖縄支部幹事、熊本大学病院の日高秀昭と申します。幹事が一時不在であった熊本ですが、昨年より私がU-40九州支部幹事をやらせていただいております。同年代の、あるいはやや先輩のU40の方々が活躍される姿に圧倒されつつ、初年度というところで様子を見ながらの活動となっておりますが、今年2年目ということで若手の心臓血管外科を盛り上げていけるようU40活動に取り組んでいこうと思ひます。できるところから始めて行こうと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

九州沖縄支部幹事

宮崎大学 心臓血管外科
森 晃佑



宮崎大学心臓血管外科の森晃佑と申します。2023年度より九州沖縄支部の幹事を務めさせていただきます。コロナが明け、2023年には再びBLCを開催することができ、多くの若手心臓血管外科医に参加していただきました。私自身、幹事としての参加は初めてでしたが、同じ幹事の先生たちや講師の先生方との関わりを通して多くの学びを得ることができました。これからもU-40の活動に貢献できるよう努力し、U-40の発展と自分自身の成長につなげられたらと考えています。よろしくお願ひいたします。

U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

”日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム”，

” Advanced Lecture Course (ALC)”，

” Meditech Education Project”，

”先天性プロジェクト”，

”NOTSS プロジェクト”，

”女性医師プロジェクト”，

などのプロジェクトが進行しています。

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します。

日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

秋田大学 心臓血管外科

高木 大地



【2023年度 活動報告】

2023年は、各支部の興味のあるテーマで企画を立ててもらい、コラムを作成していただきました。

第一号は中部支部の野田先生から術後のせん妄と疼痛の管理についてアンケートを調査を交えて発表していただきました。第二号は東北支部の新妻先生より弓部大動脈瘤に対する治療戦略について各施設の方針の違いについて報告していただきました、どの位置の大動脈瘤までTEVARなのか、open repairなのかなど、各施設での違いなどとても興味深い内容でした。

第3号は北海道支部の内山先生から心臓血管外科が抱える地域医療の問題点について報告していただきました。特別企画からのコラムであり、医療の現状の問題点の核心を突く内容でした。

第4号は中四国支部の坂本先生からは、若手心臓血管外科医のCABG修練について報告していただきましたが、読めばますます修練を始めたいような素晴らしい内容でした。

第5号では、星野先生から、地方における心臓血管外科医療の偏在について、独自の調査による具体的な数字を用いた報告がされており、非常に面白い内容です。医療圏ごとに医師数と患者数、医療圏の移動距離などから提案される星野先生の考察は非常に勉強になりま

した。

第6号は、新しくなった心臓血管外科専門医制度に悩めるU-40の光となるような内容を、関東支部の西織先生が座談会形式行なったディスカッションの内容をご報告してくれました。

詳細は、本誌を是非見ていただきたいと思います。U-40の幅広い活動、そして多様性が感じられるコラムになったと考えております。

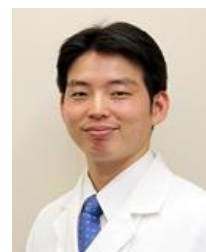
2024年も、心臓血管外科専門医制度や特別企画を取り上げていながら、患者、コメディカルスタッフ、そして我々が笑顔となれるよう、活動していきたいと思っております。

Advanced Lecture Course (ALC)

東京ベイ・浦安市川医療センター

心臓血管外科

吉野 邦彦



【2023年度 活動報告】

プロジェクトメンバー：石澤愛、石田圭一、今村優紀、衣笠由祐、高橋賢一朗、西俊彦、沼口亮介、比嘉章太郎、松野祐太郎、内山博貴、武川慶、角康平

U-40 Advanced Lecture Course (ALC) は、Basic Lecture Course (BLC) からさらに一歩進んだ内容を学ぶことを目標に、U-40会員を対象にレクチャー、ハンズオンなどを行っています。

2023年3月に行われた第53回心臓血管外科学会総会(旭川)でMaze手術、CABGのハンズオンを行いました。Mazeハンズオンでは講師に新田隆先生(羽生総合病院)をお招きしました。前半は新田先生より僧帽弁手術に併施するメイズ手術の合理的手順と成功率の高いメイズ手術のためのチェックポイントの講義をいただき、後半は講義いただいたチェックポイントに沿って、参加者二人一組でのハンズオンが行われました。限られた時間ながらも、講師・インストラクターの先生の指導のもと集中した手技を行うことができ、平均8割以上の参加者において各チェックポイントにおける手技の到達が得られ、非常に充実したハンズオンとなりました(図1)。CABGハンズオンでは講師に菊地 慶太先生をお招きしました。菊地先生よりCABGのgraft選択、吻合についての基本的な考え方、composite graftを使用する際の注意点、吻合法、sequential bypassの注意点、吻合法、適応についてお話頂き、今回のテーマであるcomposite graft作成、sequential bypassについて、各自で豚頸動脈、豚心臓を用いて2人1組でハンズオンを行いました。事後アンケート結果からは、レクチャーの内容についてはすべての参加者から「とても勉強になった」「勉強になった」と回答頂いた一方、ハンズオンについては「とても満足」「おおむね満足」が77%であったものの、「やや不満」「不満」が20%程度あり、その理由についてはハンズオンの時間が短いことがあると思われました。

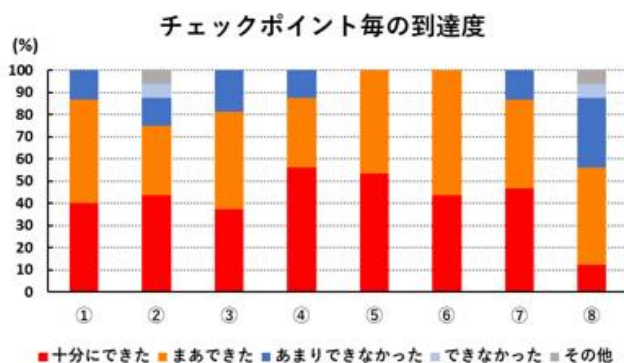
引き続き2023年7月に行われた第27回日本冠動脈外科学会(名古屋)では、CABG/MICS-CABGハンズオンを開催しました。講師に浅井徹先生(湘南鎌倉総合病院)、菊地慶太先生(東京ベイ・浦安市川医療センター)をお招きし、浅井先生よりOPCABを高いレベルで完遂するた

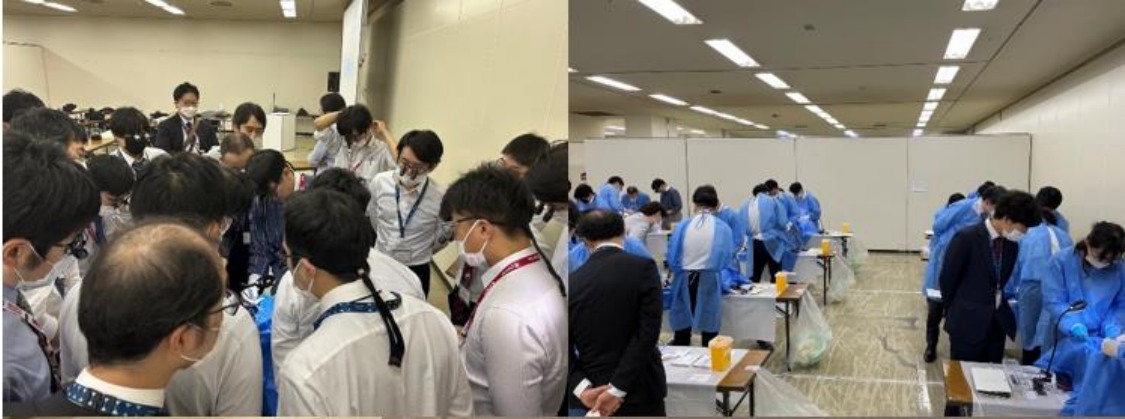
めの技術的なポイントが詰まった情熱的な講義をしていただき、続いて菊地先生よりMICS-CABGのセットアップから内胸動脈採取、吻合やトレーニング方法などのチップスが詰まった講義をして頂きました。ハンズオンのセッションでは①ブタ心臓を用いたCABG吻合トレーニング、②胸郭モデルとブタ胸壁による小開胸での内胸動脈採取、胸郭内でのCABG吻合の2パートに分かれてトレーニングを行いました。特に②のMICS-CABGのハンズオンは新しい試みでしたが、小開胸での内胸動脈採取は実践にかなり近い状況を再現でき、講師の先生方からも大変好評でした。

2024年2月に開かれる第54回心臓血管外科学会学術総会では、若手心臓血管外科医の登竜門として長年親しまれてきたChallenger's Liveを復活させるべく、準備を進めております。

今後もU-40の若手心臓血管外科医のみなさまに、一歩進んだ内容のハンズオン・レクチャーを提供できるよう、プロジェクトチーム一同で活動を続けていきたいと考えています。

メイズ手術ハンズオンチェックポイント	
①	SVC背側を十分に剥離し右側左房の切開を延長した
②	上下肺静脈間峽部より左房側で肺静脈隔離をできた
③	肺静脈隔離時に組織が折れたままれていないことを確認した
④	box lesion作成の際、左肺静脈隔離時に左房内膜の白色焼灼線を確認した
⑤	左房後壁のablation遠位端と僧帽弁輪間の伝導束部をablationした
⑥	pen型ablationの際には僧帽弁尖への直接焼灼に注意した
⑦	冠静脈洞の左房内腔からのablationに続いて心外膜側からもablationをした
⑧	左心耳閉鎖時に肉柱遺残がなく左回旋枝に干渉しないように注意した





Meditech Education Project

慈恵会医科大学 心臓外科
辻本 貴紀



本プロジェクトは、元々「基本技術定量化プロジェクト」という形でU-40のOBである安水大介先生(大阪市立大学)が金魚すくいの「ポイ」を用いて外科基本手技であるニードルワークを練習するというユニークなトレーニング法を考案され、後任の山田敏之先生(名古屋市立大学)がそのトレーニングの成果を定量化するためにスマートフォンを利用した自動評価アプリ(e-suture)を開発されて続いているプロジェクトがもととなっております。このポイを用いたプロジェクトについては山田先生がクラウドファンディングに挑戦し資金調達を行い開発を引き続き進めておられます。そこで、私としましては若手心臓血管外科医が代々受け継がれる外科基本手技の習得に積極的にテクノロジーを取り入れて、今までとは少し違う新しいトレーニング法や教育活動を提案していきたいと思っており、Meditech Education Projectと名前を改め再スタートしているところです。ただ、このプロジェクトには現在私一人しかおらず、何から始めようかと思悩んでいるところであります。

面白いトレーニング法を考えることや新しい技術を活かすことに興味がある方、是非ご連絡ください!! (grappleronasu.22@gmail.com)

先天性プロジェクト

U-40 先天性プロジェクトリーダー 伊藤 貴弘(千葉県こども病院)

サブリーダー 坂本 裕司(愛媛大学)



メンバー：小渡亮介(弘前大)、桑原優大(榊原記念病院)、本宮久之(埼玉県立小児医療センター)、中村悠治(静岡県立こども病院)、片桐絢子(東京女子医科大学)、森佳織(横浜市立大学)、鳥塚 大介(富山大学)、岩橋啓介(九州大学)、原田大輝(慶應大学)

2023年度のU-40先天性プロジェクトの活動報告をいたします。

U-40先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のためのOff the Job Trainingや、今後の小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。

【U-40 先天性プロジェクトのMission】

- ・各支部BLCでの小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけたOff the Job Trainingの計画と充実
- ・U-40小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換

【日本小児循環器学会 次世代育成委員会と外科系教育委員会の活動】

伊藤、本宮の2名が日本小児循環器学会の次世代育成委員会と外科系教員委員会に委員として参画しています。

【次世代教育委員会】

次世代教育委員会は、「小児心臓血管外科医生涯育成プログラム」の作成と実施が目的です。

小児心臓外科手術を客観的に評価し、手術ビデオの評価も導入される予定です。修練している若手の評価だけでなく、指導者への逆評価も含んでいる革新的なプログラムになっています。

【外科系教育委員会】

日本小児循環器学会 外科系教育委員会が主催で外科系教育セミナーは開催しております。今年度の指針としては、「若手がディスカッサントとして参加して発言すること」を目標に、司会やディスカッサントはU-40で担当する形となり視聴者からも大好評でした。

【第7回 JSPCCS外科系教育セミナー「ファロー四徴症②」】

2023年7月15日にWebinarとして開催されました第7回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーでは、「ファロー四徴症②」をテーマとして、九州大学の安東勇介先生、兵庫県立こども病院の松久弘典先生、静岡県立こども病院の伊藤弘毅先生よりご講演いただきました。司会は伊藤、ディスカッサントとしてU-40幹事から桑原先生、森先生、坂本先生が参加しました。

【第8回 JSPCCS外科系教育セミナー「Glenn手術～両側Glenn手術， TCPS， PA形成まで～」】

2023年12月2日にWebinarとして開催されました第8回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーでは、「Glenn手術～両側Glenn手術， TCPS， PA形成まで～」として、新潟大学の白石修一先生、福岡市立こども病院 先生、大阪母子医療センターの津村早苗先生にご講演いただきました。

司会は伊藤、ディスカッサントとしてU-40幹事から桑原先生とU-40から岡村賢一先生、山口章先生が参加しました。

【2024/1/13 U-40 BLCハンズオン 先天性コース開催】

今年度もU-40 BLCハンズオンで先天性コースを開催しました。

講師として、埼玉医科大学国際医療センターの鈴木孝明先生、筑波大学附属病院の平松祐司先生、自治医科大学とちぎ子ども医療センターの岡徳彦先生、榊原記念病院の島田勝利先生、千葉市立海浜病院の椛沢政司先生、日本医科大学武蔵小杉病院の鈴木憲治先生、順天堂大学の中西啓介先生、埼玉医科大学国際医療センターの平野暁教先生にご協力いただきました。

先天性コースは昨年開催して好評であった、ラムの小心臓にVSDを作成し閉鎖する手技を行いました。

次年度以降も受講者のニーズに合わせてながら先天性コース開催を継続していく予定です。

NOTSS プロジェクト

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科
高木 大地



サブリーダー 高木大地
メンバー 星野理、井上善則

【2023年度活動報告】

心臓血管外科医として、テクニカルスキルの向上は必須であり、Off the job trainingが専門医制度に導入され、また教科書や企業が主催するwet labなど、一定の基盤が既にできています。

一方で、チーム医療の重要性が報告されていますが、チームを形成するための「コミュニケーション」「情報共有」などの様々なノンテクニカルスキルについて系統的に学習する機会はほぼ皆無です。

先輩・後輩、他職種との関係性をどのように構築するか、レジリエンスの高いチーム形成とは何か、リーダーシップとは、コーチングを行うには、など多くの方が悩んでいることだと思います。NOTSSプロジェクトでは、外科医のノンテクニカルスキル評価のゴールドスタンダードとされているNOTSSに関する心臓血管外科学会会員に対する調査や、NOTSSにとどまらず幅広いノンテクニカルスキルを学習する機会を作り出していくことを目標に活動しています。

2023年は、Smith & Nephewの高坂仁美先生を招聘し、全4回のプレゼンテーションの講演をおこなっていただき、61人の先生方に参加していただくことができました。講演では、「成人」の特性に合わせたプレゼンテーションの基礎知識や原則、「教えるテクニック」を2回の講義を通じてお伝えし、残りの2回では参加者にスライドを用いたプレゼンテーションを行なっていただき、効果的なフィードバック方法を学びながら実践し、学習の場とさせていただきました。

また、心臓血管外科学会会員に対するノンテクニカルスキルに関するアンケートでは280人の方からご回答をいただくことができ、今後その結果について検討し、報告していくつもりです。

心臓血管外科学会の会員のノンテクニカルスキルが向上し、「U40が目指す3つの笑顔」に貢献できるように今後も活動を継続していきます。

女性医師プロジェクト

横浜市立大学附属病院 心臓血管外科・小児循環器科
森 佳織



女性医師プロジェクトは、女性医師が長く心臓血管外科医として働ける環境を考え、心臓血管外科全体の環境改善に繋げることを目標に、2020年度に発足した女性心臓血管外科医の組織です。1代目リーダー：根本 寛子先生、2代目リーダー：野田 美香先生に次いで、2023年度よりプロジェクトリーダーを務めさせていただいております。前年度は「なでしこカップ」での地域活動やハンズオン、また講師をお招きして女性心臓血管外科医のキャリアやリーダー育成についてのワークショップといったオンサイトでの活動がありました。本年度は大きな活動はできておりませんが、2024年に予定しているプロジェクト主催での勉強会など、今後の活動に向けて準備を進めております。随時プロジェクトメンバーも募集しています！

BLC ハンズオン

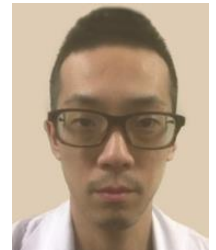
2023年度 日本心臓血管外科学会U-40主催 BLCハンズオンセミナー

第1回：2023年9月17日（日）10時～17時

開催：福島県 EBMアカデミー（アンナガーデン内）

金沢大学 心臓血管外科

上田 秀保



U-40主催の第1回BLCハンズオンを開催する機会を頂き、参加者の満足度も高く盛況のうちに会を終えることができましたのでご報告いたします。2023年度 第1回BLCを福島県内のEBMアカデミーで行いました。指導講師として、福島県内で活躍されていらっしゃる先生方をお願いしご指導頂きました。内容は、弁膜症手技（AVRやMVR、MVPなど）、CABGの基本的吻合手技を行いました。参加者は、卒後1年目から8年目、中には32年目の方含め、合計19名にご参加いただきました。

久しぶりのBLCハンズオンであり、手技時間の確保のため、座学は極力少なくしました。前もって弁膜症手技の予習をして頂きましたので、最初から2時間半に渡り豚心臓を用いた弁膜症ハンズオン、続いて入江先生よりCABGの吻合の基礎的講義を頂き、その後も2時間半に渡りCABG吻合を行いました。今回のハンズオンは約5-6時間という長時間であり、当初は時間が余り間延びしてしまうことが懸念でした。しかし、参加者はもちろん、講師の先生方からの熱心なご指導もあり、むしろ全体的に時間が足りないような状況でした。最後まで全員が手技を行うことができ、後日アンケートでも参加者満足度が高く、開催する意義は十分あったと思われました。心臓血管外科医のリクルートのため、トレーニングの機会取得を平等にするため、このようなBLCを標準化し、日本各地で開催することができるようにすることが将来的に望ましいと考えられます。このような貴重な企画に関わらせて頂きましたU-40代表の高橋先生や幹事の先生方、学会事務局の方々、多大なご協力をいただいた講師の先生方、企業の方々に深く感謝致します。





第2回：2023年11月25日（土）10時～17時
開催：福岡県 福岡大学病院新館地下1階 多目的室
光晴会病院
古賀 佑一

U-40 主催の第2回 BLC ハンズオンセミナーは福岡大学病院で九州沖縄支部の幹事の先生を中心としたメンバーによる運営で開催いたしました。2022 年度の羽田開催、2023 年度第1回の福島開催は EBM 社の運営する会場での開催でしたので、従来のような大学病院などの会場での開催は実に 4 年ぶりであり、開催前より幹事及び共済企業の方とは入念に準備を進めてまいりました。当日は卒後1年目から13年目、中には32年目の方含め、合計26名にご参加いただきました。指導講師として、九州でご活躍されている先生方を中心をお願いいたしました。また、縁がありまして、弁膜症の講義および手技のご指導をしていただきたく、みどり病院の岡田 行功先生にもお越しいただきました。

今回の内容も第1回と同様に手技時間を十分に確保する内容にすることとし、午前中に弁膜症手技(AVR、MVP、MVR など)、午後に CABG の吻合手技を行うこととしました。ハンズオンに入る前に弁膜症は岡田 行功先生、CABG は押富 隆先生にミニレクチャーを行っていただき、知識を深めた状態でハンズオンができるように工夫いたしました。午前、午後と合わせて6時間という長丁場のハンズオンを行いました。受講生のみなさまはもちろん、講師の先生方の熱心なご指導もあり、満足度の高いハンズオンができたと思います。また、昼食時には特別講演として岡田先生よりご自身の今までの経験から我々、若手心臓血管外科医に対するメッセージをお話いただき、こちらから参加者から非常に好評でした。

後日のアンケートからも全体として満足度は高く、今後も継続して開催してほしいとの声も多数いただきました。若手心臓血管外科医がこのようなハンズオンの機会を多く求めていることも認識することができ、開催意義は十分にあると感じました。今後も引き続き、若手心臓血管外科医のリクルートやトレーニング機会を多く準備するためにも、BLCは全国でより多くの回数開催できることが望ましいと考えます。このような貴重な企画に関わらせて頂きましたU-40代表の高橋先生や幹事の先生方、学会事務局の方々、多大なご協力をいただいた講師の先生方、企業の方々に深く感謝致します。



第3回：2024年1月13日(土) 10時～17時
開催：羽田イノベーションシティ内 Pio Park 羽田
東京医科歯科大学 心臓血管外科
櫻井 啓暢



受講生は以下の中から1コースを選択し、講師の指導のもと手技を修得しました。午前と午後、それぞれ20分程度の座学のあと、2時間半にわたってハンズオンを行いました。

① 成人コース：ブタ心臓を使用し、午前に弁膜症手術(AVR/MVP/MVR)、午後に冠動脈バイパスの吻合手技

② 先天性コース：ラム心臓を使用し、VSDモデルによるパッチ閉鎖手技

③ 混合コース：午前に弁膜症、午後にVSD、または午前にVSD、午後に冠動脈バイパス
講師：成人コース18名、先天性コース10名の先生方が参加し、受講生2-4名にご指導いただきました。

資材：ハンズオンで使用したブタ心臓、針糸、人工弁は共催企業から提供されました。ブタ心臓22個、ラム心臓18個、グラフト用に使用した頸動脈22本は企業からの提供ではなくEBMから購入しました。

U-40 東京支部と関東甲信越支部が中心となり、PioPark 羽田で第3回 BLC ハンズオンを開催しました。今回の開催では、成人コースと先天性コースを開設し、成人コースでは午前に弁膜症手術、午後に冠動脈バイパス術の手技を行いました。ランチョンセミナーでは創部治療、NOTSSに関して講演が行われた。成人コースの弁膜症手術では、東京医科歯科大学の藤田知之教授から弁の解剖、運針の仕方などについて講義を受け、その後AVR、MVR、MVPのグループに分かれて2時間半のハンズオンが行われました。冠動脈バイパスでは、国際医療福祉大学成田病院の真鍋晋教授から実際の手術動画を視聴しながら吻合手技について講義を受け、その後吻合手技を学びました。第一線で活躍されている講師陣より長時間にわたり指導を受け、受講生の満足度は高く、「手厚い指導が受けられた」「的確なフィードバックをいただいた」「練習不足を痛感した」など多くの言葉をいただきました。また、全国から集まった同世代の心臓血管外科医と交流できる貴重な機会にもなりました。今回の東京 BLC 開催に際し、お忙しい中ご指導いただいた講師の先生方、ご支援いただきました学会事務局の皆様、共催企業の方々に深く感謝申し上げます。そして、企画から開催まで共にした幹事の先生方にも感謝申し上げます。今後もこのような貴重な機会を共に創り上げていきたいと思っております。



専門医試験解説作成

『心臓血管外科専門医認定試験 過去問題集2016～2020』は、心臓血管外科専門医試験の対策本として受験者必携の一冊となっておりますが、解答はあるものの、解説が無い現状でした。受験者の理解の一助となるべく、前代表田中千陽先生主導の下、解答の詳細な解説集を日本心臓血管外科学会U-40が中心となり作成し、2023年11月に『心臓血管外科専門医認定試験2016～2020 一問題編／解説編』として刊行されました。



問題編 監修

3学会構成
心臓血管外科専門医認定機構
日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会
日本血管外科学会

問題編 編集

コア・カリキュラム委員会

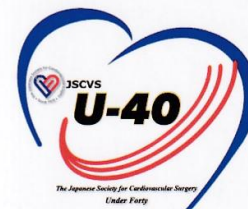
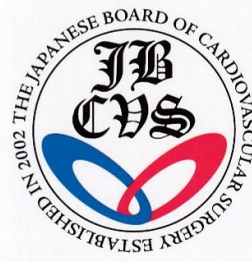
解説編 監修

日本心臓血管外科学会
研修・教育委員会

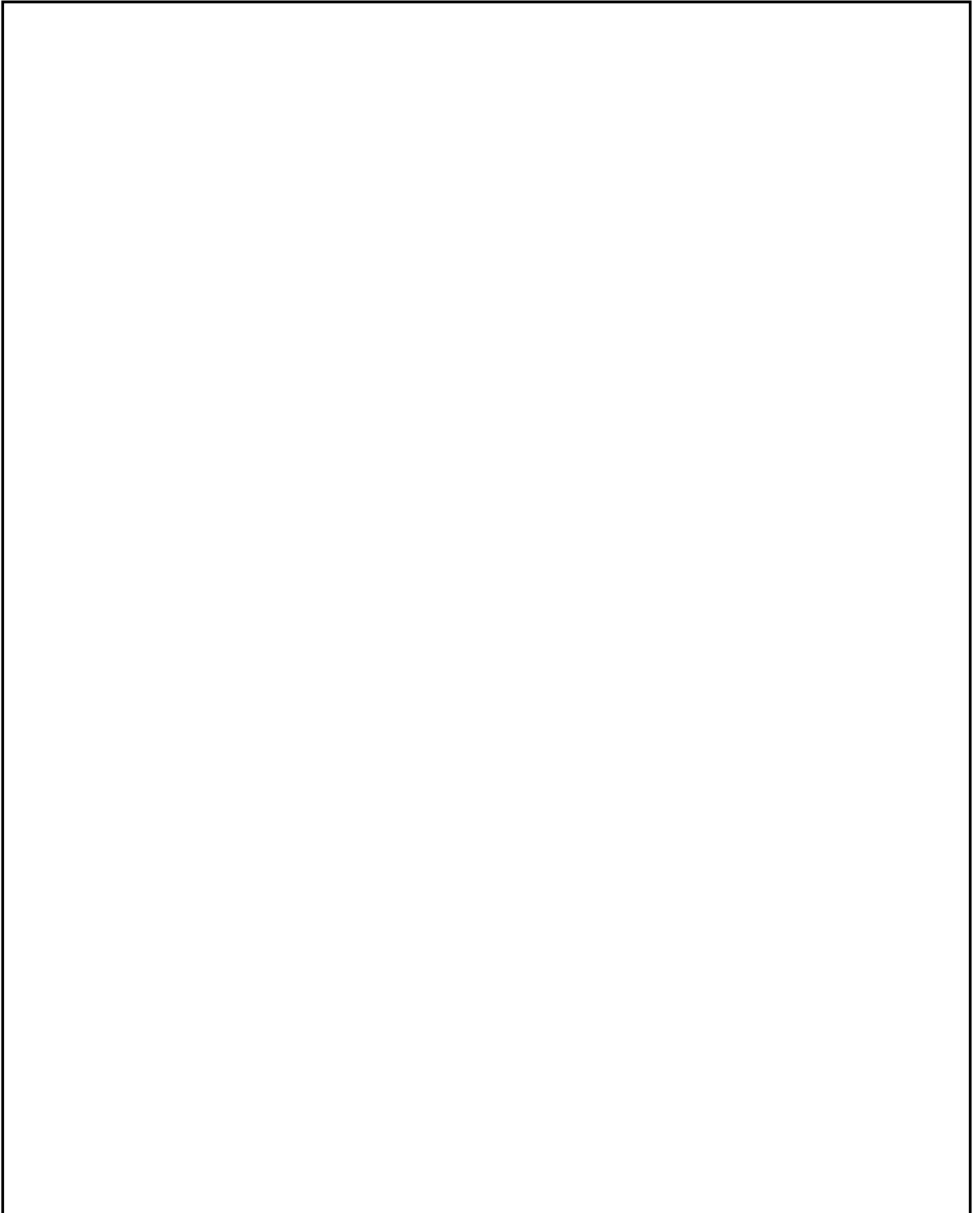
解説編 編著

日本心臓血管外科学会 U-40

南江堂



2022 年度 U-40 会計報告



－ 編集後記 －

U-40 全体広報の竜川貴光です。Annual report 作成にあたり、山本先生をはじめ各支部長の先生方、幹事の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。2018 年度から開始して今回 5 回目ですが、皆様のご協力のもと年を重ねるごとに素敵な仕上がりになったと思います。各プロジェクトの活動が活発になり、表紙の目次が増えていくのがとても嬉しいです。COVID-19 感染も落ち着きつつあり、2023 年度は再びオンサイトでのU-40 の活動が増えていきました。コロナ禍を経て培ったオンラインのノウハウも活かしつつ、今後もさらに活動の幅を広げていければと思います。今後も引き続きU-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な時間を共有できるよう尽力いたします。

旭川医科大学
竜川 貴光